

## 平成28年度 臨時教育研究評議会議事要録

- 日 時 平成29年3月29日(水) 10:00～12:40  
場 所 事務局第1会議室  
出席者 三村学長, 尾崎理事, 太田理事, 袖山理事, 米倉副学長, 佐川人文学部  
長, 生越教育学部長, 折山理学部長, 馬場工学部長, 久留主農学部長,  
木村全学教育機構長, 田中評議員, 蓮井評議員, 荒川評議員, 田内評議  
員, 吉田評議員, 増澤評議員, 伊藤評議員, 中石評議員, 後藤評議員
- 欠席者 影山理事, 高橋図書館長, 小野寺評議員
- 陪席者 増子監事, 中庭監事, 泉岡副学長, 横木学長特別補佐, 鈴木学長特別補  
佐, 内田学長特別補佐, 森学長特別補佐, 羽渕学長特別補佐, 大塚執行  
部スタッフ, 西川執行部スタッフ, 総務部長, 財務部長, 学務部長, 学  
術企画部長, 総務課長, 大学戦略・IR室副室長, 地方創生推進室副室  
長, 人事課長, 労務課長, 財務課長, 学務課長, 企画課長, 各学部事務  
長

### 議 題

#### 審議事項

- 1 財務改善実行計画について
- 2 財務改善実行計画における教員配置の再検討について
- 3 平成29年度茨城大学予算について
- 4 平成29年度国立大学法人茨城大学年度計画について
- 5 学士課程アドミッション・ポリシーについて
- 6 Internship Off-campus Program(iOP)の策定について
- 7 茨城大学入学料免除及び徴収猶予に関する規程及び茨城大学授業料等免除及  
び徴収猶予に関する規程の一部改正について
- 8 国立大学法人茨城大学教育研究評議会規則の一部改正について
- 9 その他

#### 報告事項

- 1 新制中規模国立大学間包括連携協定の締結について
- 2 工学部・理工学研究科(博士前期:工学系)の改革について【中間報告】
- 3 平成29年度入学試験実施状況について
- 4 水戸キャンパス課外活動共用施設3階集会室1の火災について
- 5 産学研究支援体制強化と社会連携センター業務再編等について
- 6 その他

## 議 事 概 要

### I 審議事項

- 1 財務改善実行計画について
- 2 財務改善実行計画における教員配置の再検討について  
学長から, 審議事項1及び2について併せて審議願いたい旨の提案があり,  
袖山理事から資料1に基づき説明があり, 審議の結果, 提案のとおり了承され  
た。

### 【主な意見】

- 各学部教授会等での主な意見を報告していただきたい。
  - ・人文学部：特に意見は無かった。
  - ・教育学部：これ以上の教員数の削減は引き受けられない。
  - ・理学部：教員配置の再検討については、財務改善実行計画とは切り離して慎重に時間をかけて、多面的・総合的に議論することが必須である。
    - ①教員配置の議論には、教員業務評価に基づく客観的なデータに基づく議論が必要である。
    - ②平成29年度に教職課程の再課程認定のための作業があり、再課程認定のガイドライン等が不明な中で、今回の教員配置の再検討を議論することはできない。
    - ③第3期中期目標期間末（平成33年度）までに、生物科学領域の教員（現在12名）のうち5名が退職予定である。特定の分野に集中した不補充となるので、生物科学プログラムの教育・研究を維持することができなくなる。理学部にとっては第4期中期目標期間までも含めた教員配置の議論が必要となる。
  - ・工学部：特に意見は無かった。
  - ・農学部：特に意見は無かった。
- 職員数の削減について、評価を踏まえて検討していただきたい。
- 業務の効率化を進めた上で職員数を削減していく。併せて、職員の評価制度を確立していく。

### 3 平成29年度茨城大学予算について

学長から、審議願いたい旨の提案があり、袖山理事から資料3に基づき説明があり、審議の結果、提案のとおり了承された。

### 【主な意見】

- 平成28年度の決算予定額を示していただきたい。
- 学生への経済支援について、成績優秀学生奨学金など学生へしっかりと周知していただきたい。
- 同様に、高校生向けのパンフレットなどにも記載し、広く周知していただきたい。

### 4 平成29年度国立大学法人茨城大学年度計画について

学長から、審議願いたい旨の提案があり、横木学長特別補佐から資料4に基づき説明があり、審議の結果、提案のとおり了承された。

### 5 学士課程アドミッション・ポリシーについて

学長から、審議願いたい旨の提案があり、太田理事から資料5に基づき説明があり、審議の結果、提案のとおり了承された。

### 6 Internship Off-campus Program(iOP)の策定について

学長から、審議願いたい旨の提案があり、太田理事から資料6に基づき説明があり、審議の結果、提案のとおり了承された。

### 7 茨城大学入学料免除及び徴収猶予に関する規程及び茨城大学授業料等免除及び徴収猶予に関する規程の一部改正について

学長から、審議願いたい旨の提案があり、太田理事から資料7に基づき説明があり、審議の結果、提案のとおり了承された。

- 8 国立大学法人茨城大学教育研究評議会規則の一部改正について  
学長から、審議願いたい旨の提案があり、総務課長から資料8に基づき説明があり、審議の結果、提案のとおり了承された。

9 その他

## II 報告事項

- 1 新制中規模国立大学間包括連携協定の締結について  
学長から、資料9に基づき報告があった。
- 2 工学部・理工学研究科(博士前期:工学系)の改革について【中間報告】  
馬場工学部長から、資料10に基づき報告があった。
- 3 平成29年度入学試験実施状況について  
泉岡副学長から、資料11に基づき報告があった。
- 4 水戸キャンパス課外活動共用施設3階集会室1の火災について  
学生生活課長から、資料12に基づき報告があった。
- 5 産学研究支援体制強化と社会連携センター業務再編等について  
学術企画部長から、資料13に基づき報告があった。
- 6 その他
  - ・佐川人文学部長から、水戸キャンパスの学務系事務の一元化について質問があり、袖山理事から報告があった。
  - ・吉田評議員から、今年度末に本学を離職する教員のメールアドレスの取扱いについて質問があり、学術企画部長から報告があった。
  - ・太田理事から、茨城大学コミットメントについて報告があった。

## III 監事からの意見

- ・本日の会議において、財務改善実行計画が了承されたことについて、学長をはじめ各学部長の皆様が議論をされ、大変なご苦勞をされたことに敬意を表す。ただし、この計画の中で、入学志願者数の増加が新たに追加されたが、今年度の入試では前期で661名、後期で943名、合計1,604名の入学志願者が減少しており、金額に換算すると約2,600万円になる。減少した部分を元に戻すことは大変だが、学長も決意の程も示されており、学長の下で全学が一丸となって入学志願者の確保に努めていただきたい。また、Internship Off-campus Program(iOP)の策定について、iOPでの学外研修先に関する整備計画(案)において、「～の準備が必要である。」や「～の準備が必要になると考えられる。」とあるが、これらは課題の提示であるため、具体的に記載するのであれば、「～を準備する。」や「～を確保する。」などしっかりと示すべきである。さらに、計画というからには、現況・課題・取組内容と整理することが計画としての体裁ではないか。
- ・アドミッション・ポリシーについて、入学志願者を増加させる意味でもアドミッション・ポリシーは大切である。本学に入学を希望する高校生は潜在的に多くいるので、高校生が本学で学びたいと思い、そのために高校3年間を頑

張って勉強するためのメッセージとして伝えていただきたい。また、財務改善実行計画について、各学部の意見が取り入れられ、細やかな配慮が加えられた計画になった。多くの議論があり先生方はご苦勞をされたが、より良い計画になった。収入増加策に対して、予定する収入が確保できずに穴を空けることのないよう、さらには、茨城大学基金や入学検定料収入の確保など、目標達成に向けてしっかりと進めていただきたい。なお、文部科学省からの告示などを見ると、外貨預金の運用や土地の貸出の許可など、各大学に対して運営というものを強く求めている印象があり、教職員全員が運営という視点を持ち、取り組んでいただきたい。

#### IV その他

教育研究評議会会議資料の公開について

学長から、資料の公開について、以下のとおり確認があった。

非公開：無し 全て公開する。

次回 教育研究評議会開催

4月13日（木） 14時00分から